

# 情報誌 たかぎ

ホームページアドレス <http://www.vill.takagi.nagano.jp/> 電子メールアドレス [info@vill.takagi.nagano.jp](mailto:info@vill.takagi.nagano.jp)



## 健康ウォーキング in 矢筈（10月21日）

今年2回目の健康ウォーキングは紅葉の始まった矢筈公園を訪れ、  
禍誤除けの滝遊歩道を散策しました。

### 今月号の主な内容

- |                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
| ■ 広報たかぎ                            | ■ 健康アップPPK ……………10面  |
| ・お気づきですか地球温暖化……………2面               | ■ 学校だより 第1小 ……………11面 |
| ・子どもゆめ基金募集……………3面                  | ■ 交流センター便り ……………12面  |
| ・故障頻発・下水道……………3面                   | ■ ひなたぼっこ ……………13面    |
| ・村発注工事（7～10月）……………4面               | ■ オフトークたかぎ ……………14面  |
| ・H19総合表彰式 ……………5面                  |                      |
| ・第10回村に寄せる作文コンクール<br>受賞作品……………6～9面 |                      |

2007  
**12**  
December



村の人口 6,743人(-25)  
男 3,271人(-14)  
女 3,472人(-11)  
世帯数 2,045戸(-3)  
(平成19年11月1日現在)



【事例①】ポンプ分解の状況  
(原因・キッチンペーパー)

最近、下水へ流してはいけない物が家庭から排出されるため、ポンプが詰まるという故障が度々発生しています。故障修理には多くの費用が必要となり、皆さんにお支払いいただく下水使用料にも跳ね返ります。ポンプが詰まる原因としては、布、タオル・水に溶けない紙(キッチンペーパー、ティッシュペーパー)などを下水へ流す

## 故障頻発

下水道の正しい使用方法について

## 子どもゆめ基金 助成金の募集について

「じょうもんクラブ」「わの里体験クラブ」「読み聞かせの会はーとぽぽぽ」では地域の大人と子どもの農業体験、絵本の読み聞かせの会等の活動を行っています。

この団体は子どもゆめ基金から助成を受けて活動を行っています。

子どもゆめ基金とは国と民間が協力して子どもの体験活動、読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする基金です。

平成20年度「子どもゆめ基金」は助成金の募集しています。

詳しい案内、募集について知りたい方は子どもゆめ基金ホームページをご覧になるか教育委員会までお問い合わせ下さい。



収穫したサツマイモでスイートポテトづくりをしました。



【事例②】  
処理場へ流れ着いた携帯電話

なお、今年のポンプ故障は三回あり、うち二回は同じ箇所(中央保育園上流ポンプ場)で発生しています。

ことです。トイレでは水溶性の紙以外は使用しないようにし、今後、このようなものが流れないように協力をお願いします。

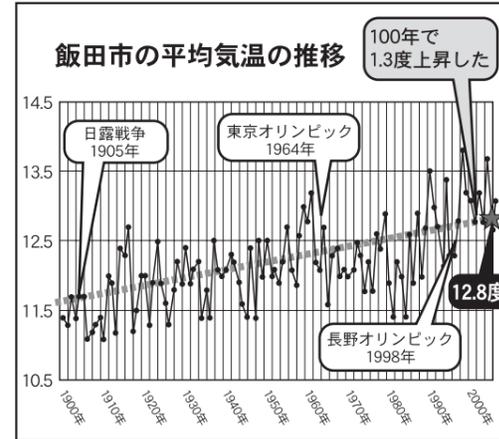
お気づきですか  
この地域でも進む地球温暖化

着実に上昇する平均気温

実りの秋を迎え、特産の市田柿の収穫も始まっています。が、ここ数年農家の皆さんから「柿の乾燥が進まない」「リングの色づきが悪い」といった声を多く聞くようになりました。天竜川に目をやると、以前は見たこともなかったアオサギや川鵜を頻繁に見るようになりまし。これらの変化、実はこの地域の平均気温

上昇が大きく影響していると考えられます。飯田測候所の平均気温は一〇〇年間に一・三度上昇しています。この勢いで気温が上昇すると、二一世紀末には今の種子島の気温に達してしまう計算です。被害の拡大する鹿の食害も、冬の期間の気温上昇で鹿の死亡率が低下したことが大きな原因と考えられています。

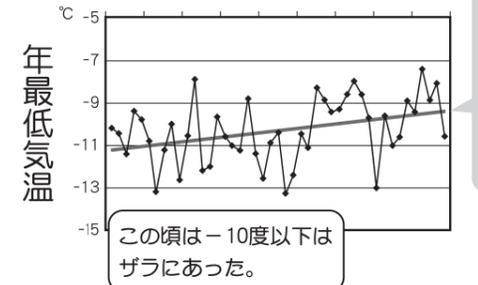
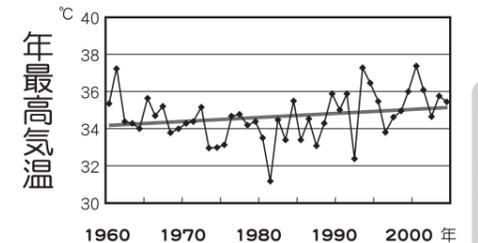
(資料協力・下伊那地方事務所環境課)



今世紀末最悪のシナリオの場合  
(平均気温) 12.8度 + 6.4度  
= 19.2度 → 種子島(19.6度)

今の日本ではどこ?

## 最高気温よりも最低気温が上昇 (地点:飯田)



これでは田んぼスケートリンクはできません。

資料(気象予報士・杉山範子氏)

このままでは、今の子どもたちが生涯を終えるまでの間に、世界規模の環境破壊が発生し、疫病の蔓延や食糧危機・飢餓の拡大が世界各地に起こることが懸念されています。その先には大きな戦争や社会の崩壊と言った大変不快な結末を迎える可能性すらあり、何らかの対策が求められています。

地球温暖化に対しては、二酸化炭素の排出削減、京都議定書など、私たちの廻りでもいろいろ話題になっています。



策定委員会先進地調査 (岩手県:葛巻町)

## 災害時の発電機、投光器等を整備

平成19年度自主防災組織育成事業

(財)自治総合センターでは、宝くじ普及広報事業の一環として各種コミュニケーション助成事業を行っています。

災害の未然防止及び被害の軽減を図ることを目的としています。

この自主防災組織育成事業は地域住民の行うコミュニケーション活動を推進し、その健全な発展と認識を深めるとともに住民の自主的防災活動を通して



## 人と文化と地域力

～みちシンポジウムin駒ヶ根～

入場無料

日時: 12月1日(土) 13時～15時30分

場所: 駒ヶ根市文化会館大ホール

### 基調講演

### シンポジウム

「人と文化と地域力」

出演 峰久 幸義氏 (国土交通省事務次官)  
玉村 豊男氏 (エッセイスト・画家)  
中原 正純氏 (駒ヶ根市長)  
田中 欣一氏 (民俗・日本思想史研究家)  
能勢 博氏 (信州大学医学部教授)  
白鳥英美子氏 (歌手 トワ・エ・モア)

コーディネーター

福島 敦子氏 (キャスター・エッセイスト)

※参加するには事前申込みが必要です。

お問い合わせ先

信越放送テレビ営業局業務部  
TEL.026-237-0541



広報たかぎ  
お知らせ版

## 12月の結婚相談日

○日時 十二月八日 土曜日  
午後七時～午後八時三十分  
○場所 喬木村老人福祉センター  
第一会議室  
※相談日に関わらず、随時左記にて結婚についてのご相談を受け付けております。

○お問い合わせ  
喬木村役場 住民課福祉係  
担当…市瀬  
電話…3315123

## 11月の村税等

納期限	口座振替日
国税(第8期)	11月26日 ◎口座振替の方は預金の残高確認をお願いします。
介護保険料	
保育料	
上下水道料	
11月30日	

## 製造事業所の皆様へ 統計調査に 御協力ください

平成十九年工業統計調査を十二月三十一日現在で行います。

調査の実施に当たっては、本年十二月から来年一月にかけて調査員がお伺いします。調査票に記入していただいた内容については統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確な御記入をお願いします。なお、本年の調査より調査項目の一部を改正しましたので、調査票の記入にあたっては御注意ください。

経済産業省  
長野県  
喬木村

## 国税電子申告・ 納税システム 「e-Tax」

国税庁では、国税の申告、納税及び申請・届出等の手続きがインターネットを利用して行える国税電子申告・納税システム「e-Tax」の普及に努めています。

来年度の確定申告の際には「e-Tax」を是非ご利用ください。

詳しい情報は  
www.e-tax.nitagojp

## 賃金不払残業 解消キャンペーン

職場における賃金不払残業(一般にサービス残業と言われています。)は、長時間労働の温床ともなり、また、長時間労働等による過重労働は、労働者の健康を害する原因となるだけでなく、生命への危険をもたらす要因ともなります。

そこで、十一月二十三日(金)の勤労感謝の日に、午前九時～午後五時まで「全国一斉無料相談ダイヤル」を設置します。日頃から過重労働や賃金不払残業に関する悩み・疑問を持つておられる事業者、労働者及びその家族等からの相談を受け付け、助言しますので、お気軽にお電話してください。

無料相談ダイヤル番号は、0120-8971283です。  
○問い合わせ先  
長野労働局・労働基準部・監督課  
☎026-223-0553

## 平成19年度総合文化祭

### 表彰を受けた皆さん

●表彰  
宮下 孝行 様 消防団員及び副団長、団長として消防団の統率、改革に尽力  
山上 正俊 様  
山上 秀志 様  
山上 喬 様 兄弟三人で、消防団員として地域の防火防災活動に尽力  
婦牛原ハウス団地組合 代表 松澤 広一 様 昭和五十二年以来三十年間の永きにわたりハウスキュウリ栽培に積極的に取り組み、地域農業の振興に寄与  
黒川 良一 様 村誌の編纂委員や歴史民俗資料館の初代館長として、村の歴史や文化を広く内外に紹介  
●村に寄せる作文コンクール表彰  
(小学生の部)  
村長賞 中塚 琴美 様  
優秀賞 鞍馬 大輝 様  
佳作 木下 翔太 様  
羽生 純玲 様  
井澤 祐香 様  
萩原 達也 様  
木下 凌輔 様  
木下 様  
(中学生の部)  
村長賞 岩本 和樹 様  
優秀賞 栗澤 哲郎 様

佳作 菅沼 夢菜 様  
河合 祐介 様  
松村日香里 様  
●花壇コンクール表彰(公共の部)  
最優秀賞 喬木中学校 様  
優秀賞 喬木南保育園 様  
努力賞 喬木第二小学校 様  
(一般の部)  
最優秀賞 富田老人クラブ 様  
優秀賞 一期屋 様  
努力賞 南公民館 様  
黒川 良一 様 婦牛原公民館 様  
馬場公民館 様  
フラワーロード特別賞 両平花壇愛好会 様  
田上川公民館 様  
●感謝状  
ヒタカセイコー 代表 上島 政尚 様  
地域の振興、活性化のため、ふるさと祭りの成功にご尽力  
天竜川ロータリークラブ 会長 竹村 昇一 様  
社会福祉資金として、多額の浄財を寄付  
日本禁煙友愛会 喬木支部 支部長 下平 秀寛 様  
社会福祉の一環として、

小中学校にノート、保育園にハンカチを寄贈  
株式会社 はやし 代表 原 和司 様  
地域の発展、活性化と子育て支援のため、保育園新入園児に園服を寄贈  
株式会社 マツザワ 松澤 泰 様  
交通安全思想の普及、交通事故防止のため、保育園新入園児にカバンを寄贈  
株式会社 アイテック 代表 大平 喜則 様  
阿島子ども獅子育成のため、多額の浄財を寄附  
向井 純一 様  
教育文化向上のため、椋鳩十記念館図書館に多数の図書を寄贈  
仲田 征一 様  
子供達をロボットミュージアムに招待するため、多額の浄財を寄付  
市瀬 八郎 様  
保育園の充実のため、多額の浄財を寄付  
●伝達表彰  
消防庁長官表彰竿頭授与 喬木村消防団  
長年にわたる消防団活動の功績  
総務省関東管区 行政評価局長表彰 塩澤 久一 様  
長年にわたる行政相談委員業務に尽力  
長野県町村議会議長会表彰 原 東彦 様  
山上 賢亮 様

## 村発注工事請負契約(7~10月)

番号	事業名	事業箇所	契約方法	契約金額	契約日	請負業者名
1	村単道路改良工事	村道5号線 上平	指名競争入札	4,200,000	19.7.11	松島建設
2	村単道路改良工事	村道273号線 南	指名競争入札	2,730,000	19.7.10	野島建設
3	校内電話設備改修工事	喬木第二小学校	指名競争入札	1,312,500	19.7.13	丸登電業
4	庁舎耐震補強工事備品整備事業	喬木村役場	指名競争入札	7,980,000	19.7.10	正木
5	村民バス待合所建設工事	交流センター前	指名競争入札	1,102,500	19.7.23	マルケイ産業
6	校内放送設備改修工事	喬木第一小学校	指名競争入札	3,517,500	19.7.12	まるとも電機
7	コミュニティー消防センター新築工事	南農事集会所	指名競争入札	9,397,500	19.7.18	東登興業
8	喬木村地域新エネルギービジョン策定等事業	村内全域	指名競争入札	2,415,000	19.8.1	長野県農協地域開発機構
9	学校共同調理場床塗装工事	学校共同調理場	随意契約	1,109,640	19.8.3	ナンシンググリーンカラー
10	保全松林緊急保護整備事業	村内全域	指名競争入札	6,772,500	19.8.8	飯伊森林組合
11	村単道路改良工事	村道625線 伊久間	指名競争入札	2,520,000	19.8.10	野島建設
12	配水管布設工事	南地区	指名競争入札	3,097,500	19.8.10	大平建設
13	防災組織育成助成事業	村内全域	随意契約	1,102,500	19.8.10	松澤防災
14	地方道路交付金事業 舗装繕繕工事	村道620号線伊久間	指名競争入札	19,215,000	19.8.27	野島建設
15	南部簡易水道送水管布設替事業	村道7号線 大和知	指名競争入札	6,510,000	19.8.27	野島建設
16	図書貸出機器更新(ハードウェア)	椋記念図書館	随意契約	2,940,000	19.9.21	アネックスインフォメーション(株)
17	図書貸出機器更新(ソフトウェア)	"	随意契約	7,035,000	19.9.21	アネックスインフォメーション(株)
18	地方道路交付金事業 道路改良工事	村道7号線 大和知	指名競争入札	87,150,000	19.10.31	中川建設
19	公共土木災害復旧工事	富田下	指名競争入札	1,732,500	19.10.25	吉川建設工業
20	公共土木災害復旧工事	加々須下	指名競争入札	1,312,500	19.10.27	松島建設
21	北保育園職員駐車場舗装工事	北保育園	指名競争入札	1,438,500	19.10.26	大平建設

## 喬木村消防団 秋期訓練で 村内ごみ拾い活動 (10月28日)



北澤 光昭 様  
長年にわたり議会議員として地方自治振興に尽力  
長野県民生児童委員  
協賛会長表彰  
喬木村民生児童委員協議会 会務の運営並びに委員活動が優秀  
●満88歳(米寿)の祝表彰  
振興施策の推進に寄与  
多年にわたりスポーツ  
飯伊体育指導委員協議会長表彰  
湯沢 直幸 様  
畑中 孝一 様  
岩間 わか 様 昼神 君代 様  
松澤 成海 様  
松澤 文子 様  
松澤 花香 様  
大平 清人 様  
原 清人 様  
市瀬 義治 様  
上島金治郎 様  
吉川 福雄 様  
大原 スミ 様  
小池 啓兼 様  
尾賀 志み 様  
北澤 卓爾 様  
城田 芳一 様  
城田 節 様  
小池 喜作 様  
木下 千里 様  
筒井 千文 様  
元島 ヒロ 様  
城田 七郎 様  
澤田 英尚 様  
宮下 敬 様  
教育委員及び教育委員長として二期八年村の教育行政の振興に貢献  
長野県市町村教育委員会 連絡協議会長表彰  
全国市町村教育委員会 連合会表彰  
長野県市町村教育委員会 連合会表彰

# 第10回 村に寄せる 作文コンクール 受賞作品



教育フォーラム

## 小学生の部 村長賞

### 今の喬木村、そして未来の喬木村

喬木第一小学校 五年 中塚琴美



私は、この喬木村を、今よりもっと住みよい喬木村にするために、三つのことを考えました。  
一つは、いきいきとした村づくり、ということですが、今の喬木村は、小学生や保育園児、中学生などの子どもと、地いきの大人のかかわりが、少ないと思います。でも、最近では地区の教育フォーラムなどもあり、子どもと地いきのかかわりをふやそうという活動もふえてきているかなと感じています。学校の登下校中に地いきの人に会ったら、必ずあいさつをするように心がけています。まず、小さなことをだんだんやってみよう、いきいきとした村づくりの第一歩につながればいいな、と思っています。

喬木村は、いちごがりで有名です。それに、阿島の大ふじも、観光名所として知られています。いちごがりは、毎年大勢の人が喬木村におとずれて、喬木の、大きくて真っ赤な、あまいいちごを口いっぱいほおぼって、楽しんでもらっています。いちごがりは、私の、喬木村のじまんの一つでもあります。

もう一つの阿島の大ふじは、私の通学路にあります。だから、花がさきはじめてなあって思っていると、お店がはじまり、下校の時に、お客さんを見かけるようになります。ふじが、だんだん長くなってくると、お母さんに知らせ、家族で、見に行きます。私は、阿島の大ふじが、一番きれいだと思います。むらさき色のふじが多いけど、私は、ピンク色のふじが一番好きです。ふじの時期になると、花のいいにおいが、ふわっと広がっています。急いでいるときも、おもわず、立ち止まってしまいたいようになります。この阿島の大ふじも、私の、喬木村

のじまんの一つです。それに、あまり知られていませんが、喬木村には、クリンソウもあります。三年生の遠足のときに、九十九谷公園で見たクリンソウは、とてもきれいでした。私が住んでいる阿島のほうは、クリンソウは、あまりありませんが、富田のほうは、クリンソウがあります。このクリンソウも、いちごや、阿島の大ふじのように、有名になればいいな、と思います。有名になれば、クリンソウを見に喬木村におとずれる人がふえて、村の活性化にもつながるんじゃないかと思っています。この三つが今よりもっと有名になって、喬木村といえれば、「いちご」「阿島の大ふじ」「クリンソウ」って周りの人に、言われるようになればいいな、と思います。

私は、喬木村の自然が、大好きです。学校は、山の上にあつて遠いけど、学校に行くまでに、自然の、いろいろな物を見たり、聞いたり、感じたりすることがあります。この花見たことないな、どんな花なんだろう、と思いつながりながら登校することもあります。今のこのままのじようたいで自然を残しておくのは、あまり、むずかしいことではないと思います。一人一人が、ゴミをポイ捨てしないこと、自然を残そうという意識を持つだけで、自然は、このまま、残ると思います。

私は、とくに、お金持ちの家ではないし、有名でもありません。私一人が、こうしようと思っても、一人だけで実行しても、すぐに、できることではありません。でも、みんなが協力して、自分のことだけでなく、周りの人のこと、『村』のことを考えて行動するようになれば、絶対、喬木村は、「住みよい村」になると思います。

## 小学生の部 優秀賞

### 小川川のかんきょう調査から

喬木第一小学校 四年 鞍馬大輝



ぼくは、学級の「なかはらの時間」で、小川川のかんきょうについて調べています。  
四年生の一学期、小川川の下流で一回目の調査をしました。ヤゴなどの魚以外の生き物がとれました。ぼくは、一回目の調査で、下流には魚以外の生き物が多くすんでいるということがわかりました。  
次の調査では、小川川の上流に行きました。友達の隆之介君といっしょにいろいろな生き物を取りましたが、魚がたくさん取れました。その魚を教室で調べてみると、カジカという魚でした。この魚は、きれいな川にすんでいるということがわかりました。  
この二回目の調査で、上流では魚がたくさん取れました。しかも、大きな魚もつかまえました。  
ぼくは、この二回の調査で小川川の水はきれいでたくさん生き物がすんでいることがわかり、自然が守られているんだなあと安心しました。  
しかし、心配になってきたことがあります。これまでの調査で、上流にゴミが捨てられてゴミが流れ出してきたら大変なことになってしまうと心配になってきました。ぼくの生活を見つめ直すと、いけないとはしりながら今まで平気でゴミをいろんなところに捨てていたなあと反省しています。  
このことを思うと、これから小川川だけでなく加々須

川や天竜川もよごれないようにしていきたいと思っています。  
調査をしているとき、橋の下や川原にタイヤやプラスチックのトレーなどのゴミが捨ててあるのを目にしました。社会科で、ゴミのゆくえについて勉強しましたが、世界中がかんきょうについて取り組んでいました。また、「三つのR・リユース・リデュース・リサイクル」でゴミを出さない取り組みをしていることも勉強しました。それなのに、意外にゴミが捨ててあることにおどろきます。そこで、村全体もつと三つのRについての勉強会をし、いちご狩りやブルーベリー狩りにくる人達にも呼びかけ、かんきょうにきびしい喬木村であることを呼びかけていくと思います。

地球のかんきょうについては喬木村だけの取り組みでは解決しないことを勉強しています。だから、自然が豊かで、多くの生き物がたくさんすんでいる喬木村は、もつともつとゴミの分別やリサイクル活動に力を入れたり、お店や工場にも協力してもらえようようにほじょをしてゴミを少なくする努力をしてほしいです。

飯伊広域連合で建てた桐林クリーンセンターは、かんきょうにすくきびしいきじゅんで建てたと聞きました。それと同じように、喬木もきびしいきまわりを決めて取り組むべきだと思います。



小川川釣り大会

## 中学生の部 村長賞

### 喬木村を活気あふれる村に

喬木中学校 二年 岩本和樹



僕はこの緑がたくさんある静かな喬木村が好きです。だから僕はこの喬木村をもっと活気あふれる村にするために幾つか案を考えてみました。

まず初めは「人口増加」です。喬木村は今人口七千人を目指していますが、まだそれに達していません。なのでまず人口増加のために喬木村の名産品や、夕日の絶景などを地方各地にアピールして喬木村に良い印象を持ってもらい、一度喬木に訪れてもらいます。こうすれば自分の目で喬木村を見ることが出来れば「喬木にすんでみたいな」という気持ちになってくるだろうと思います。しかし訪れた人達に良い印象を与えるには村民全員の協力が必要です。そこらにゴミが落ちていたらだれでも不快な気持ちになります。なので常に全員がゴミをポイ捨てしないことや、ゴミを見つけたら拾うという習慣をつけていく必要があります。どんなこともまずは、小さな事から始めていくのが大事ということです。他にも駒ヶ根市のソースカツ丼みたいに、喬木村ならではの井ぶりを作るのもいいかもしれません。

次は、行事を増やして活気あふれさせるということです。喬木村の大きな行事といえば、「喬木ふるさと祭り」が挙げられます。この他にも、喬木の有名な所や、歴史的な場所を巡るウォークラリーをやってみるのもいいかもしれません。内容としては、巡る所一ヶ所ずつにそ



健康ウォーキング

## 中学生の部 優秀賞

### 人口を増やすための対策

喬木中学校 二年 栗澤哲郎



喬木村では今人口を増やすために幾つかの取り組みをしているようです。例えば、宅地を作りそこに引っ越して来てもらうようにしたり、三人目の子供からは村からお金の補助がでたりするなどです。僕は人口を増やすためにはまず、村外から引っ越して来る人たちを増やすことが一番ではないかと思っています。そのために喬木村では、宅地を作ってそこに来てもらうようにしていますが、それだけではなく特典などをつけたいと思います。例えば、引っ越して来てくださった人に、これからの生活に少しでも足になるようお金の補助がでるようにすればいいと思います。しかし、特典だけでは来てくれないと思うので「喬木村に住みやすいところだ」と思ってもらえるように、村の景観を良くすることも大切だと考えます。喬木村は山があったり川があったりして、自然とふれあうことができる場所です。しかし、川の近くにはあき缶やごみ袋などが落ちていたり、道には、たばこの吸いカスが落ちていたりするのが残念です。山や川の近くや、人がよく通るところを中心にゴミ拾いや清掃活動を定期的に行えば、いつでもきれいな村になり、村外から喬木村に移り住みたいと思ってくれると思います。

他には喬木ならではの活動などのアピールが大切だと思います。僕は、中学三年まで医者での治療費がかからないというのは喬木の特徴の一つだと思います。この活動はかなりのいいと思います。例えば、飯田市では、小六までしかこの活動を行っていません。なのでこれを一番アピールすればいいのではないのでしょうか。

そしてなんとこれも喬木村の特色といったらやっぱりいちご狩りでしょう。いちご狩りも、今まで以上に客



中原住宅団地

の場所の説明や、いい所などを書かれた紙が置いてあり、それを歩きながら集めていくというものです。最後にその集めた紙をファイルすると、一冊の本になるという仕組みです。これを行うことで、参加者達がたくさんの人々と交流を深め、さらに、健康面にも良く、喬木のこともよく分かるという一石三鳥の行事になります。他にもたくさん行事を行うことで、村がどんどん活気づいていくと思います。

この二つの案を実行すれば、喬木村の目標人口に近づいていきますし、活気が出てきて、とてもよい村になると思います。しかし、人口が増えるという事は、家が建つということですね。家を建てるには、大量の木材等を使い、田畑だった所に家が建つとそこにあつた緑は無くなつてしまします。温暖化が進んでいる今、この事も考えながら作業していつてもらいたいです。そして喬木村のいい所をずっと残る村づくりをしていくことを願います。皆で最高の村をつくっていききたいです。

が増えるように、もっと工夫をしてみたらどうでしょう。例えば、三年間以内に二回目のいちご狩りに来てくれたら少し割引をしたりするなどです。くり返し来てくれる人が増え、またその人たちが喬木のいちごのよさも宣伝されます。

また、喬木村は農業をやる人が減ってきているそうです。僕たちは今年村内の農家でいろんな作業を行う農業体験を行いました。この体験から、農業はつらいけれど、その分楽しいことや嬉しいことがあると学びました。農業体験をだれでもできるようにすれば、農業の楽しさを知ることができて、農業をやりたいと思う人が出て来るといいと思います。そこで喬木村で農業をやってくれるという人には、宅地だけでなく農業をするための土地をつけたらいいと思います。人口も増えるし、引っ越して来る人も嬉しいと思います。

次は、子供を増やさないといけないと思います。今、喬木村の子供は多分千人いるかいないかぐらいでしょう。喬木中学校は今二クラスずつです。この先減っていったら、一クラスという学年がでてくるかもしれません。でも、この問題はいま少子化が進んでいるのでかなり大変なことだと思っています。周りの人がどうこういつてどうにかする問題ではないと思うので、この問題は今、村で行っている二人目の子供からお金の補助を出すという活動を続けていくのがいいと思います。